



はいさい

第188号
令和4年6月24日

—編集企画・発行—
沖縄防衛局 総務部報道室

沖縄防衛局ホームページ



〒904-0295 嘉手納町字嘉手納290番地9 TEL(098)921-8131 <https://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>

岸田内閣総理大臣訪沖



キャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区)視察
(出典:官邸ホームページより)

岸田内閣総理大臣が、令和4年5月14日から15日の日程で沖縄を訪れました。
5月14日、平和祈念公園及び首里城の視察を行い、翌15日には、普天間飛行場及び西普天間住宅地区跡地の視察、キャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区)の視察、沖縄科学技術大学院大学の視察及び沖縄復帰50周年記念式典へ参加されました。



普天間飛行場及び西普天間住宅地区跡地 視察
(出典:官邸ホームページより)



普天間飛行場及び西普天間住宅地区跡地 視察
(出典:官邸ホームページより)

目次

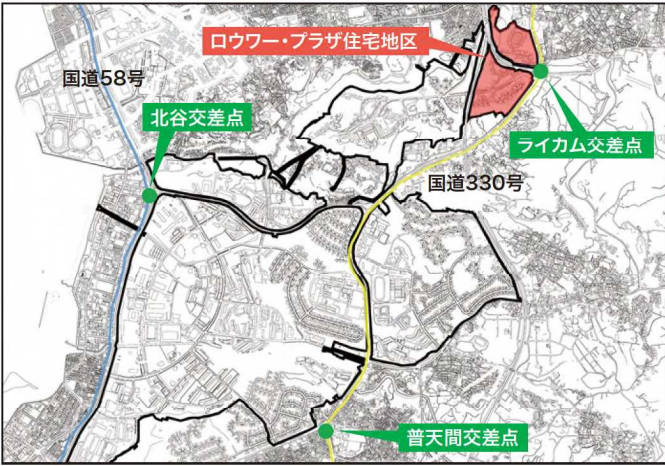
CONTENTS

- ◆岸田内閣総理大臣訪沖…………… 1
- ◆ロウワー・プラザ住宅地区の共同使用について…………… 2
- ◆「比謝川自然体験センター」オープニングセレモニー …… 3
- ◆「道の駅かでな」リニューアルオープニングセレモニー …… 3
- ◆沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施への取組み状況…………… 4
- ◆はいさい編集後記…………… 4

ロウワー・プラザ住宅地区の共同使用について

キャンプ瑞慶覧の一部であるロウワー・プラザ住宅地区は、沖縄総合計画において、返還条件達成後、2024年度以降に返還を予定しています。返還までの間も、沖縄県民の皆さんの生活の利便性の向上に資するものとして利用されるよう日米間で調整を進めた結果、緑地公園として開放し、多くの人々に利用していただける場とすることといたしました。

キャンプ瑞慶覧(ロウワー・プラザ住宅地区)



同地区約23ヘクタールの共同使用は、5月15日に現地を訪問した岸田内閣総理大臣より発表し、その後、令和4年5月の日米合同委員会にて合意※されました。

※一般利用に向けた住宅解体のための共同使用に係る日米合同委員会合意



緑地公園(イメージ)

公園整備について

計画している緑地公園については、駐車場、ベンチ、トイレ等を設置し、丘陵地の自然や景観を活かした公園として整備する予定です。この際、返還後は地元において跡地利用されることを考慮し、既存の道路やフェンス、ソフトボール場等を活用し、追加的な整備は必要最低限とするよう検討しております。



既存の家族住宅の状況
(58棟(102戸)解体予定)

Q 緑地公園化により返還は遅れないの？

A 今般の緑地公園としての開放は、返還条件達成までの暫定的な土地の利用です。返還条件達成のための工事は並行して行われ、緑地公園化は当該工事の進捗に影響を与えるものではないことから、今般の共同使用により返還条件の達成が遅れるという関係にはありません。

Q 返還条件と現在の進捗状況は？

A 返還条件は、米軍の家族住宅102戸をキャンプ瑞慶覧内の別の場所へ移設することです。返還条件達成のため、現在移設先の家族住宅に係る設計業務や今後住宅を建設する上で必要となる造成工事等を実施しているところです。

当局担当者の声



移設整備課長の本田です。緑地公園として共同使用するために必要な準備の指揮を執っております。

緑地公園の一般開放は、沖縄県民の皆様にとって生活の利便性の向上に資するものと考えており、利用が早期に実現できることを期待し、「ちむどんどん」しております。

令和4年4月22日に「比謝川自然体験センター」のオープニングセレモニー、令和4年4月28日に「道の駅かでな」のリニューアルオープニングセレモニーが行われ、當山嘉手納町長をはじめ関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

「比謝川自然体験センター」オープニングセレモニー

本施設は、町民をはじめとする県内外の来訪者へ比謝川の自然や歴史・文化を学ぶ場を提供し、その関心と意識を高めていくことを目的として整備されており、展示室整備につきましては、防衛省の

特定防衛施設周辺整備調整交付金（交付金額7千4百万円）が活用されております。



比謝川自然体験センター外観



小野沖繩防衛局長の祝辞



オープニングセレモニーの様子



1F 展示室

「道の駅かでな」リニューアルオープニングセレモニー

本施設は、沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業により、当局がお手伝いをして整備が行われ、平成15年4月の供用開始以降、屋良東部地区の活性化、町産業の掘り起こし、観光産業の交流拠点施設として町民をはじめとする県内外か

らの来訪者に利用されてきました。この度、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金（交付金額約5千7百万円）を活用した既存棟の改修及び沖縄振興一括交付金を活用した展望施設の整備が行われました。

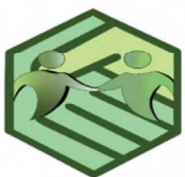


道の駅かでな外観



リニューアルオープニングセレモニーの様子

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが何よりも重要であると認識しており、今後とも防衛施設周辺の皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施への取組み状況

キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた、いわゆる県道104号線越え実弾射撃訓練については、平成8年12月の日米特別行動委員会 (SACO) の最終報告に基づき、沖縄県民の負担軽減のため、これらの訓練を平成9年7月から本土5カ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施しており、これまでに87回実施されています。

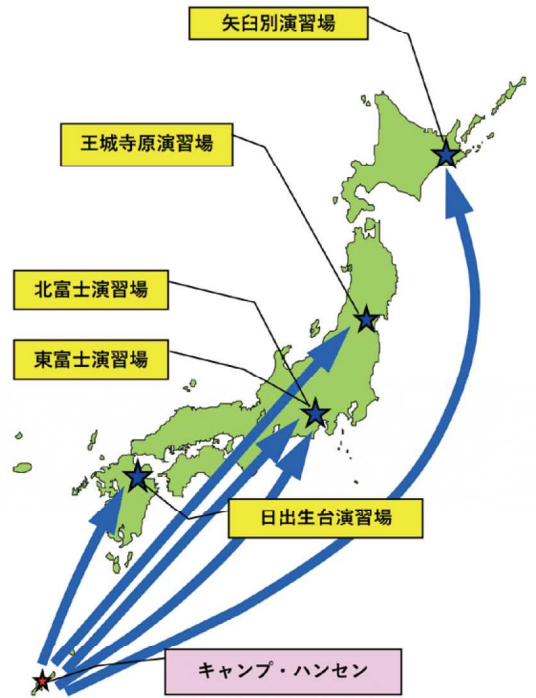
当局では、在沖米海兵隊がこの訓練を実施するにあたって必要な物資等の円滑な輸送のため、米軍や輸送業者と打合せを重ね、輸送状況を確認するなどの業務を行っています。

令和4年度の訓練計画については、以下のとおり予定しており、各演習場における訓練の具体的な日程等については、今後、日米間において調整を行い決定します。

今後とも、本土5カ所の演習場への訓練の分散・実施を行い、沖縄県民の負担軽減に取り組んでいきたいと思いを。

【令和4年5月末時点】

- 【令和4年度訓練計画】 令和4年2月17日公表
- 第1回 日出生台演習場 令和4年4月～5月 (実施済)
 - 第2回 東富士演習場 令和4年7月～9月
 - 第3回 王城寺原演習場 令和4年10月～12月
 - 第4回 矢白別演習場 令和5年1月～3月
- ※上記期間は、部隊の展開期間である。



本土5カ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施



はいさい編集作業



はいさい原稿確認

沖縄防衛局広報「はいさい」を企画・編集する沖縄防衛局報道室には、現在、8名の職員が勤務しており、7名の地元出身者と1名の県外出身者で構成されています。

同じ地元出身者でも生まれ育った地域（北部地域2名、中部地域3名、南部地域2名）が違えば様々な習慣の違いや言葉のイントネーションの違いなどから、勤務合間の他愛もない会話で必要以上に盛り上がったたりしております。

当室は、令和4年度の定期異動等により半数以上の職員が入れ替わり、未熟な面も多々ありますが、ざっくばらん、朗らかな雰囲気です。

はいさい編集後記

な雰囲気を取り組んでおります。



令和4年度 報道室メンバー

今回も「はいさい」をお読みいただきありがとうございます。構成は、業務広報らしい編集内容となっておりますが、最後の部分だけは少し肩肘張らない感じにしてみました。

引き続き、皆様に関心を持っていただける企画を心がけてまいります。

(報道室)